

研究課題 エオジン好性核内封入体病の原因遺伝子の検索に関する情報公開

1. 研究の対象

2010年11月2日～2018年3月31日に当院神経内科で神経核内封入体病と診断された方

2. 研究目的・方法・研究期間

エオジン好性核内封入体病 (NIHID) の家系の発症者および非発症者から、同意の下に DNA の提供を受けた後、次世代シーケンサーを用いて、遺伝子配列を網羅的に解読する事により、原因遺伝子の同定を目指す。エオジン好性核内封入体病と臨床診断が確定している患者 150 名、および正常対照者として患者の親族から 50 名を目標に DNA の提供を受ける。DNA および試料は、共同研究施設である国立病院機構鈴鹿病院および横浜市立大学遺伝学に提供し、次世代シーケンサーを用い、HapMap あるいは dbSNP などの、公開されているデータベースの情報を参考にしながら、全エクソン解析あるいは全ゲノム解析を行って、原因遺伝子の同定を目指す。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、画像所見、各種検査結果、副作用等の発生状況、カルテ番号、生年月日、イニシャル、病理検体番号 等

試料：血液、髄液、皮膚生検組織、皮膚線維芽細胞、剖検組織 等

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究施設への試料、情報の提供については郵送で行います。シーケンスデータについては電子媒体をハードディスクに記録した上で、パスワードロックをした上で郵送します。データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

共同研究機関

国立病院機構鈴鹿病院 神経内科 第二神経内科医長 曾根 淳

横浜市立大学 神経内科学・脳卒中医学 教授 田中 章景

横浜市立大学 遺伝学 教授 松本 直通

既存試料・情報の提供のみを行う機関

国立病院機構 東名古屋病院 犬飼 晃 ほか 75 施設

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65 電話：052 744-2391

名古屋大学大学院医学系研究科 附属医学教育研究支援センター 特任研究部門

特任助教 橋詰 淳

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻 脳神経病態制御学講座 神経内科学

教授 勝野 雅央

研究代表者：

国立病院機構 鈴鹿病院 脳神経内科 第二神経内科医長 曾根 淳